

戦争する国へ突き進むいま

— 軍産複合体国家化にいかに抗うか —

2023
10/1
日曜日

時 間 14:00~16:00
開 場 13:30
会 場 塩尻市市民交流センター（えんぱーく）
3階 多目的ホール
定 員 130人（先着順）
参加費 無料
申込開始 9/3（日）

申し込み方法

本館総合カウンター、メール、電話（0263-53-3365）のいずれか。メールの場合は次の内容をお送りください。

- 宛 先 tosho@city.shiojiri.lg.jp
件 名 「10/1 本の寺子屋申込」
本 文 1 参加者全員の氏名（フリガナ）
2 代表者電話番号
3 お住まいの地区
4 この講演会を知ったきっかけ（広報、チラシなど）

「防衛財源確保法」「防衛産業強化支援法」が成立した。軍事・安保技術の開発を最優先課題に位置づけ、「学」への圧力が露骨になり、平和が蝕まれつつある。政権がいまどこに向かおうとしており、私達はどうか抗えるか、市民の皆さんと考えたい。

＜講師＞

望月衣塑子（もちづき いそこ） 東京新聞記者

1975年、東京都生まれ。2000年に東京・中日新聞に入社。2004年に日本歯科医師連盟のヤミ献金疑惑の一連の事実をスクープし、自民党と医療業界の利権構造を暴く。その後、防衛省の武器輸出、軍学共同、森友学園・加計学園問題の取材を続け、現在は社会部遊軍記者として、入管問題、ジェンダー格差、ロシアのウクライナ侵攻などを取材。著書に『武器輸出と日本企業』（KADOKAWA）、『武器輸出大国ニッポンでいいのか』（共著、あけび書房）、『THE 独裁者』（KKベストセラーズ）、『権力と新聞の大問題』（集英社）、『なぜ、日本のジャーナリズムは崩壊したのか』（講談社）、『報道現場』（KADOKAWA）など。2017年に平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞を、2019年には「税を追う」取材チームでJCJ大賞を受賞した。